

サービスセンター 桂坂だより

第2号

〒610-1101 京都府京都市西京区大枝北杵掛町一丁目 21 番地の 94

☎075-335-3610 令和4年1月吉日発行



2階 小規模多機能フロア

夢コスモス園ドライブ

10月 亀岡の夢コスモス園にドライブをしに行きました。コロナウイルスの影響で残念ながら園内に入ることは断念いたしましたが、天気にも恵まれ、満開のコスモスを楽しむことができ、ご利用者は久しぶりの外出を楽しまれていました。今月は「初詣」を予定しています。お楽しみに！



葉牡丹 鉢植え

12月 お正月にむけて、葉牡丹を植えました。「もう正月か」と季節を感じられていたり、「軽石は水捌けをよくするために入れるんやで」と職員に教えてくださったり、和気あいあいと合計8つの葉牡丹を鉢に植え替えました。ちなみに葉牡丹の花言葉は、「祝福」「利益」「慈愛」だそうです。



クリスマスの昼食

小規模多機能では、定期的にイベント食を実施しています。みんなで鍋をしたり、おこのみ焼きを作ったり。クリスマスの日には丸鶏2匹をオーブンで焼いて、職員お手製ポテトサラダのツリー、パスタ、ケーキと一緒に召し上がっていただきました。「持って帰りたい」という声があがるほど好評でした☆

ポテトサラダの
ツリー→



←丸鶏

職員より

冷え込みが強くなってきた今日この頃。先日、桂坂地区では雪が積もりました。まだまだ寒い日が続きそうですが、皆様お身体に気をつけて一緒に冬を乗り越えましょう！さて今年は寅年ということで、私はいろんなことにトライしていく一年にしたいと思っています。虎頭蛇尾とならぬよう今年も一年頑張りますので、どうぞよろしくおねがいいたします。

(小規模多機能職員 柴田)



新年のご挨拶



皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

令和元年末より始まった新型コロナウイルスによるパンデミックも2年以上経過していますが、いまだ収束の目途もつかず、様々な変異を繰り返しながら広まりを続けています。我々としては、ご利用者の命を守ることを最優先に考えつつ、できるだけ楽しみのある生活を送っていただけるように支援していきたいと思っております。引き続き、ご家族や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

所長 浦川良太郎

グループホームでの生活

前の号では「グループホーム桂坂」の運営母体と施設の概要を簡単にご紹介しました。「グループホーム」は、「認知症対応型共同生活介護」とも呼ばれる入居型の高齢者福祉施設です。さまざまな種類のある「老人ホーム」の一形態です。認知症の方は環境の変化への対応が苦手とされていることから、当施設では最大9名のご入居者と職員とで「顔なじみ」の関係の中で落ち着いて生活出来るようにしています。ご入居者の能力に応じ家事や趣味などに取り組んでいただくことにより、認知症に伴う症状の緩和などを目指しています。家庭的な環境での生活を意識していますが、小規模ゆえに設備や医療的なケアの提供体制は「特別養護老人ホーム」などと比較すると弱い面もあります。



コロナ禍で外出行事が難しい中、12月は施設内で「クリスマス会」と「もちつき」を行いました。お正月にご入居者にお召し上がりいただくお餅は、餅つき機を使ってではありませんが毎年施設でついています（もち米とうるち米との半々で、喉に詰まりにくいお餅を用意しています）。以前であればクリスマス会では地域のボランティアの方にお越しいただき演奏会をしていただいたり、もちつきでは児童館の子供たちをお招きして臼と杵を使った本格的な餅つきを行っていましたが（鏡餅にしていました）。コロナ禍ということもあり、昨年に引き続き今年もご入居者と職員のみで、ささやかながらも和やかな雰囲気の中で2021年を締めくくる行事を行いました。

「2021年を振り返って」・・・2020年に引き続き、2021年も新型コロナウイルスの話題一色の一年でした。介護職員としても、一生活者としてもこのことが頭から離れることはありませんでした。コロナ禍だから「あれも出来ない、これも出来ない」と消極的な気持ちになることが多かったように感じます（感染予防策に取り組むのは当然のことですが）。「制限のある状況」の中でも「出来ること」に着目すること、これは介護福祉に携わる職員として非常に大切なことです。2022年は「今の状況のなかで、出来ること」に積極的に取り組む一年にしたいと思っています。（グループホーム介護職員：D）